
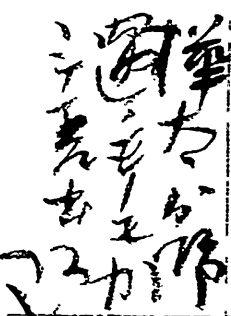
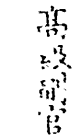

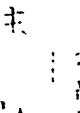



1801

號九七一第



房 了 明 年 十 月 廿 七 日	官 明 年 十 月 廿 三 日	臣 明 年 十 月 廿 二 日	大 明 年 十 月 廿 二 日	課 明 年 十 月 廿 二 日	局 明 年 十 月 廿 二 日	帶 明 年 十 月 廿 二 日	聯 明 年 十 月 廿 二 日	主 明 年 十 月 廿 二 日	務 明 年 十 月 廿 二 日	裁 明 年 十 月 廿 二 日	決 明 年 十 月 廿 二 日	大 明 年 十 月 廿 二 日	件 明 年 十 月 廿 二 日	非 明 年 十 月 廿 二 日	受 明 年 十 月 廿 二 日	領 明 年 十 月 廿 二 日	名 明 年 十 月 廿 二 日	領 明 年 十 月 廿 二 日
<p>  </p>																		
<p>  </p>																		
<p>  </p>																		
<p>  </p>																		
<p>  </p>																		
<p>  </p>																		

領
 名
 石塚民政堂以下三名相燭
 應
 名
 石塚民政堂
 署

陸

軍

陸軍

大臣等 陸軍省 陸軍省 陸軍省

別紙 陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

十月廿三日

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 陸軍省 陸軍省

作付一様所計有候波老事奉人々高台滞
東上着身相備茲外九九八号より
身一果上事奉有候波老事奉人々高台滞

(七記)

滋山岩結累枝所至攝太氏改累枝所川高結累枝所

陸軍省 送達 滿發第九九八九號

十一月廿四日

石塚氏改長官以下四名、芝海

明治七年前十時三十分相喝被 作付系

石塚氏改長官以下四名、芝海

清發第九九八九號

十一月廿六日

川崎
十二日

月廿六日	川系	曾	系	常
------	----	---	---	---



川崎按所、家私、
十二番地、
鎌町区三番所

1084

名防

1085

明治三十八年十二月廿一日

明治三十八年十二月廿一日

拜謁被仰付度儀ニ付京中

南東洲民政长官石塚英藏



陸軍大臣寺内正毅殿

別紙人名、者今般歸朝不日歸任ニ付本月廿五日迄、間ニ於テ拜謁被仰付度此殿及京申候也

明治三十八年十二月廿一日

追言 東洲民政署設置、際ハ多ク赴任
、為拜謁不被作白候條以般申添儀也

關東沙目連署

五月廿八日
三浦重名 伊奈ノ口 燈籠

民政長官

拜謁出願者名

石塚英藏

十二月十日 上陸

（十丁病舎地通）

朝鮮州長官署

拜謁少翁者中上如

可
羅東河及政買市物及
時
那親
窪右邊治片
崎村幡亭

望之

關東州民女醫

1089

拜復
御書
御返

御書
御返

御書
御返

御書
御返

御書
御返

1089

陸軍省副大臣殿

廿九年四月以近海系之豫定

徐七位 川崎好孝

兼榊古民海軍技師

藤山公啓海軍技師

十月廿三日

通り、古往々、
直史、友成、取計、
能上、快、
野具

聖旨

武陸一七四號

二月十六日

滿蒙第九九八二号及全第九九八九号石塚
園東洲民政長官以下四名明二十七日午三
十時三十分拜謁被仰付候條時刻所
事内候様御意相成度此段申進候
也

明治三十八年二月二十六日

侍從武官長田宮内大臣

陸軍大臣寺内正毅殿



1691

旨内首